

平成 26 年度 第3回 屋代高等学校・附属中学校 学校評議員会 記録

日 時： 平成 27 年 2 月 19 日(木) 15:50～17:00

場 所： 本校会議室

出席者： 学校評議員 5 名

学校職員 10 名（学校長，副校長，教頭，教務主任，キャリア教育主任，生徒指導主任
SSH 委員長，理数科主任，PTA 係主任，学校評議員会委員）

司 会： 北島教頭

※授業参観 14:45～15:40 高校・附属中学校

1 開会

2 学校長挨拶

- ・授業アンケートを経ての授業改善
- ・高校理数科前期選抜と附属中学校入学選抜を終えて

3 各担当より

(1) SSH 第Ⅲ期 4 年目の取組について

(SSH 委員長)

●生徒発表

- i) SSH 課題研究「千葉県流山市における若者の投票率を上げる方法」(2-7 生徒 3 名)
- ii) 米国海外研修「A Study Trip in the USA」(2-2 生徒 2 名)

●本年度の取組について

- ・本校では数学の課題研究を頑張っている。連携講座や新課程の授業でも積極的に数学に取り組んで成果を上げている。
- ・海外研修は、用意されたプログラムをこなす形なので、今後はより能動的な活動にしたい。
- ・今年度は全学年で連携講座を行った。生徒をもっと大学へとつなげていきたい。

(2) センター試験結果および二次試験，私大入試への取組

(キャリア教育主任)

- ・センター試験では理科で得点調整され，化学はやや不利。数学ⅡB は難化。理系生徒は苦戦。
- ・国公立大学推薦合格 21 名は過去最高。国公立前期出願 201 名。実直に国公立を目指す。特編授業に毎日取り組んでいる。

4 学校評価について

(教務主任)

- ・学校評議員アンケートの集計をまとめた。全て“十分”または“概ね十分”という評価，平均 95.2 点。比較的低評価の項目は進路指導体制，授業づくり，快適安全な学校生活。引き続き努力する。

5 質疑および提言

(1) 各説明に対する質問・意見

- ・授業を見学し，頑張っているようすが分かった。先生方はおつかれさま。
- ・センター試験の結果を見ると，国語の力がある。“理系の屋代”と言われるが，素晴らしい。
⇒現代文が特に良い。国語ではアクティブラーニングを導入し，主体的な学習をしている。
- ・東京大学志願者増加。PTA の研修旅行の東大見学が人気で多数参加した。そんな事も関係あるか。
⇒理数科普通科あわせて数名，そのつもりで指導し，一緒に学習してきた。早くからの取組が重要。
⇒大学見学には卒業生に頼んでガイドさせた。好評だった。
- ・20 年以上前から長野県の生徒が数学に弱いことを問題視し，呼びかけてきた。数学に関しては他県

に周回遅れの状態。県教委には本気で改善してもらいたい。

- ・小中学生に教えていても、説明だけで精一杯になってしまう。本当に“出来ない”。バランスが悪い子がいる。数学は捨てて他で稼ぐ、と言う。
⇒計算力の無い子がいるのを感じる。幅が広がっている。

(2) 本校への提言

- ・今のままの努力を続けないと落ちる。多様な生徒が力を伸ばす学校であってほしい。
- ・前教育長の著書で屋代高校の取組が紹介されている。資料から、生徒の満足度が高く、学力と人間性の両方が成長する姿が見える。旧4通学区から長野市に流出せずに頑張っている。
- ・卒業した子が何かにつけ同級生と集まる。屋代高校で良かった。附属中学生が「センター試験を目指して頑張っている」と言った。それよりも中学生がやるべき事がある。
- ・さまざまな校外での学習は屋代高校でしかできない。新聞、テレビ番組など活躍の様子が見られ、喜んでいる。きめ細かな指導のおかげ。
- ・附属中学生が高校に入学する。周囲への刺激となり、ますます活性化していくことを願う。

6 学校長謝辞

常に生徒のために考えている、教員の熱意のたまもの。教員が財産。同窓会の方々が、新聞テレビで活躍を見るのが嬉しいと話題に。クラブ活動を始め、外部との関わりを発信していくことが大事だと考えている。理数の弱さについては、まず足下の地固めをしていきたい。学力と豊かな人間性の両立を重視する。主体的に学び、たとえ入試が終わっても学び続ける生徒を育てる。今後もぜひ学校を見に来て、ご意見いただきたい。1年間ありがとうございました。